

## □ トピック □ 啓蟄前に防虫・防鼠対策を

今年の啓蟄(けいちつ)は3月6日ですね。啓蟄の頃から、気温が上がり冬眠していた虫や動物が動き出す時期といわれています。実際は種類にも依りますが、多くの生きものは平均気温が10度くらいになると活動し始めるので啓蟄よりも後の時期になることが多いようです。

こういった虫が動き出す前に、前年度の防虫・防鼠対策をおさらいしておくことが大切になってきます。壁の隅周りにゴミや埃は落ちていませんか？水周りや湿気の多い場所でカビが発生していませんか？排水溝や排水枡に有機物がたまっていませんか？ドアやシートシャッターの下部、側面に隙間が生じていませんか？、、、など。

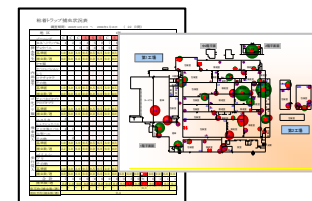
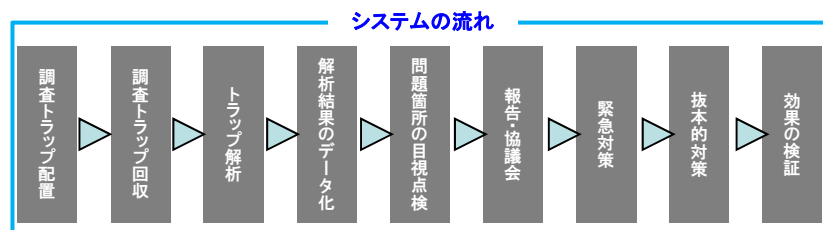
少しずつでもいいので気になった箇所を改善し、事前に対策しておくことで、よりよい環境づくりを目指していきましょう。



## □ お知らせ □ 防虫・防鼠管理サポートシステム

食品、医薬品、化粧品等の工場にとって製品の安心を脅かす虫やネズミの防除管理は必須であるといえます。弊社ではこのように専門的な知識が必要となる有害生物を科学的に分析し、清潔な環境の維持管理と異物混入の予防を行っていく防虫・防鼠管理サポートシステムを行っています。システムの流れとしては下記の図のようになっています。このシステムの利点としては①管理基準値を細分化することで、異常箇所の絞り込みができる、②トラップ解析を即座に実施し、データ化することができる、③即座の報告・協議会を通じて各部門(製造・品質・工務・専門業者など)間の情報を共有し、組織的かつ客観的な対策の実施をサポートできることが挙げられます。

弊社では様々な現場での経験から防虫・防鼠サポートシステムを構築し、実践しておりますので、お困りのことがありましたらご相談ください。



調査報告書

## □ 豆知識 □ 謎の多い深海生物

5年と43日という長期間の間、絶食を続けていた深海生物についてご存知でしょうか？この深海生物は、鳥羽水族館(三重県鳥羽市)で飼育されていた、『NO.1』と名付けられたダイオウグソクムシのことです。先月14日のバレンタインデーの日に死亡が確認され、追悼番組も放送されました。NO.1は鳥羽水族館に入館後、時折ごく少量の餌を食べてはいましたが、2009年1月2日に約50gのアジを1匹丸ごと食べて以来絶食を続けてきました。NO.1は死亡が確認された後すぐ、死亡原因追究のために、解剖されましたが、胃の中は空で内容物を確認できませんでした。体に目立った傷などもなく、今のところ死因は不明とされています。このNO.1は今後、鳥羽水族館で冷凍保存されるようです。

ダイオウグソクムシは等脚類(ダンゴムシの仲間)では世界最大、節足動物の複眼(約3500個の個眼から成る)では最大級です。深海底の動物の死骸を餌とすることから『深海の掃除屋』と呼ばれています。謎が多い深海生物の一種で、現在研究が進められています。

このように世界には謎の多い深海生物がたくさん生息していますので、調べてみるとおもしろい情報が手に入るかもしれませんね。



ダイオウグソクムシ



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社: 岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点: 大阪, 姫路, 岡山, 倉敷, 福山, 広島, 高松, 松山

関東(市川)